

ひろげる つながる ろうけんの輪

ろうけん

ROKEN Kagoshima

鹿児島



No**116**

令和6年(2024)
7月1日発行



「時の狩人、石昇華」 祝迫正豊

公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

INDEX

時代を読む	1
加倉 瑞子	
第28回鹿児島県老人保健施設大会	2～6
こほれおちたもののもの ⁴⁰	7
三角 みづ紀	
研く 究める	8～11
令和6年度 研修会	12～13
協会だより	13
ぶらぶらが素敵 かごしま ¹⁶	14～15
ふるさとフォーカス	16
かごしまの食卓 夏編	17
介護用品あれこれ	18～19
あなたの地域の介護老人保健施設	20～24
伊佐・始良地区	
日置・川薩・北薩地区	
鹿児島地区	
曾於・肝属地区	
南薩地区・熊毛・大島地区	
表紙絵	
「時の狩人、石昇華」	25
祝迫 正豊	
編集後記	25

ろうけんとは

「ろうけん」とは、介護保険が適用される介護老人保健施設の愛称です。県内の76カ所の施設が公益社団法人鹿児島県老人保健施設協会を組織しています。この冊子「ろうけん鹿児島」は、同協会の広報誌です。

2024年介護報酬改定

現場の医師として思うこと

鹿児島県老人保健施設協会理事

加倉 瑞子



2024年、6年ぶりのトリプル改定の年となり、各施設対応に追われていることと思う。

し、入所・通所利用のご家族に対して制度の概要を説明した。

開設から今まで幾度も介護報酬改定があった。当初は一部の職員が読み込んで伝達するようにしていたが、2018年（平成30年）改定頃より、施設全体が理解しなければならなくなってきた。今回の改定の概要が出た後、月一回の職員会議で全老健の東憲太郎会長のご講演の映像を全員で見学、翌月には処遇改善加算についてその変遷を説明し、理解を求めた。その後各チームに分かれて、これからの方針やとれる加算は何かを確認。加算をとるために動くというよりは、今までの活動を加算に落とし込む作業をしていた。また4月29日には家族会を開催

当施設は独立型老健で、自宅である有床診療所から4キロ離れたところにある。開設当初より休日夜間の救急対応や朝晩の定時連絡の電話、月一回の診療所及び在宅サビビス職員や老健職員等、法人全体でのWeb会議を行い、連携を図ってきた。そのことが

やつと介護報酬として評価されることが嬉しかった。また循環器に携わっていたこともあって、『心不全パンデミック』を老健の現場の医師として危機感を感じていた。細やかな内服調整やどのくらいの労作が可能か、水分制限しながらも必要な量は摂取させて、食事形態や栄養補助食品の検討、血液や尿の電解質の観察を行いながら、その人らし

い生活を探ってきた。そんな中、所定疾患療養費の疾患に慢性心不全の増悪が追加されたことは朗報だった。診療報酬でも在宅静注強心薬持続投与に保険承認が得られた。在宅での麻薬の注射投与も新しく心不全または呼吸器疾患患者でも保険診療が算定できるようになったことで、在宅復帰への可能性も増えてきた。また総合医学管理加算（医療シートの見直し）もなされた。今まで計画的短期入所で来られた方が明らかに脱水等で治療せざるを得ない状況下でも算定できなかったが、今回の改定で熱中症や脱水・褥瘡・蜂窩織炎・血糖や服薬管理等が行えるようになった。短期入所者の主治医で無床の診療所の先生方に向いていくべきだと東会長は話されている。そのことが老健の稼働率を上げる手段にもなり、空床情報を医療機関に出していくことが必要とも話された。同じく高齢化により慢性腎臓病も増えている。人工透析一步手前の方にも対応している。老健入所者で医療保険から算定できる項目として、腎性貧血に対して

エリスロポエチンが算定できる。これは人工透析または腹膜透析を受けている人に限られており、一步手前の方には薬価の高い内服薬を投与せざるを得ない。ほとんどの医療費が介護報酬に包括されている中、ポリファーマシーに配慮し減量できるものは減らしているが、その方が生きていくために必要な薬は高額な薬でも出さざるを得ない状況に直面する。後発品がない薬もある。制度を変えるにはエビデンスを出していかなければならない。東会長は次期改定に向けて動き出す必要がある、各種調査についてしっかり回答してほしいと話された。また介護報酬財源を確保するには政治活動も重要だと言われている。今まで高齢者医療に携わってきて、感染症や医療の変遷も経験してきたが、その時々最善の治療や対応を行ってきたことが、結果的に後から制度がついてくるようになってきたと思う。介護報酬改定の礎を築く科学的根拠を積み上げていくことが、今後必要なのではないかと思う。

Roken Report



ハイブリッド方式で開催された第28回鹿児島県老人保健施設大会。会場では参加者たちが熱心に聞き入った

第28回鹿児島県老人保健施設大会

未来を創る老健チャレンジ
～働き手クライシスに打ち克つ

ハイブリッド方式で運営

4セッション23施設発表

第28回鹿児島県老人保健施設大会は2月27、28日の両日、鹿児島市の県医師会館で開催されました。大会テーマは「未来を創る老健チャレンジ～働き手クライシスに打ち克つ」。ZoomとYouTube配信によるハイブリッド方式で行われ、会場は延べ166人が参加、Zoomで延べ42施設が視聴しました。

開会式では、会長に代わり県老健の前原くるみ理事が、施設スタッフの人手不足や入所者の高齢化といった老健を取り巻く現状に触れながら、「大会での発表を通して課題を共有し、ともに学び、働きやすい職場づくりにつなげましょう」と挨拶しました。

2日間にわたり、「安全管理・運営管理」「在宅支援・地域支援他」「リハビリ・認知症他」「医療・介護」の4つのセッションがあり、計23施設が日ごろの取り組みや研究成果を発表しました。

初日トップで登壇したのは青雲荘（姶良市）の松尾悟史さん（理学療法士）。テーマは「Web活用したリスクマネジメントについて～紙を無くして、負担を無くす」。取り組みとして「ヒヤリハット」を「ヒヨコのつぶやき」と名付けたそうです。あつという間に

親鳥になるヒヨコに例え、「ヒヤッとした小さい出来事が対処を誤れば重大事故につながりかねない」として、「ヒヨコのつぶやき」をWeb活用で集計・分析。ペーパーレス化による情報共有を図り、未然の対策をとりやすくしたなどと報告しました。

このほか、在宅復帰を目指す取り組みや、老健職員の腰痛予防などについて報告が行われ、会場の参加者らが熱心に聞き入りました。

初日の特別講演では厚生労働省の佐野隆一郎課長補佐が「令和6年度介護報酬改定のポイントと介護老人保健施設への期待」と題して語りました。地域包括ケアシステムの中核を担う老健と医療機関、家庭との連携が重要だと指摘しました。



開会のあいさつをする前原くるみ理事

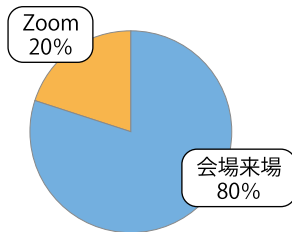


福祉用具・介護ロボットなどの紹介・展示・模擬体験も併せて開催された

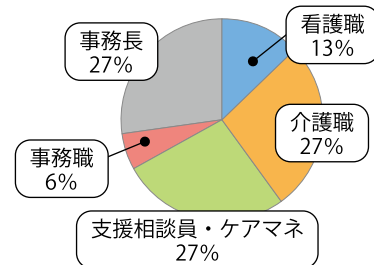


第28回鹿児島県老人保健施設大会 アンケート集計結果

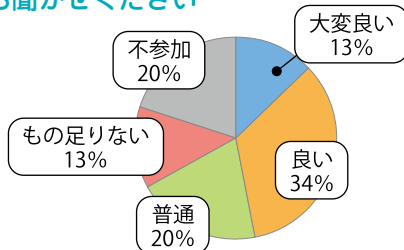
Q1, どの方法で参加しましたか



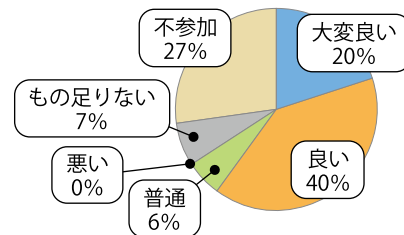
Q2, あなたの職種は？



Q3, 「特別講演」について、ご意見ご感想をお聞かせください



Q4, 1日目の「各施設の演題発表」についてご意見ご感想をお聞かせください



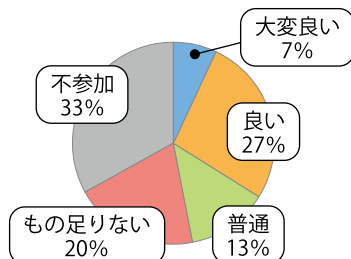
ご意見

- ①行政当事者よりも関係コンサル業界の精通者による「如何に今回の改定を乗り切るか」という立場からの講演をしてもらいたかった。時間に追われた感じで早口だったため、手元の資料を確認しながらの聴講ができなかった。
- ②質疑応答の時間を設けていただきたかった。介護福祉分野の現役官僚を担われる方と直接お話をする機会がなかったにないことなので質疑応答の時間がなかったことが少々残念でした。
- ③質疑応答を受ける中で深められたりする時間が必要だったと思う。せっかく講師が来場している意味がなかった。

ご意見

- ①初めての参加だったのでどれも興味深かった
- ②義務化される口腔ケアの取組の準備を進めているところ、タイムリーな発表だった。発表者の施設のように進められないが自分たちのできる範囲での体制づくりの参考としたい。
- ③各施設の取り組みや思いがよく伝わってきて大変有意義なものだと感じました。
- ④久しぶりに参加したが、発表数が少なく、以前のようにタイトである必要がないからかもしれないが、前準備進行などが段取り悪く感じた。
- ⑤GOOGL フォームを使った独自のヒヤリハット活動。風花苑の方がご発言されたように、「研を究める」に寄稿をお願いしてはいかがでしょうか。
- ⑥それぞれの施設の頑張りぶりを聞けて大変勉強になった。
- ⑦レジュメと同内容を読み上げているだけのものが多い。参加せずとも抄録集を読めば理解できたのでは。

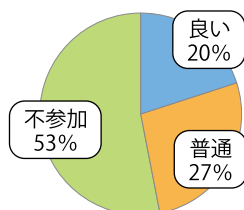
Q5, 1日目の「シンポジウム・グループワーク」について、ご意見ご感想をお聞かせください



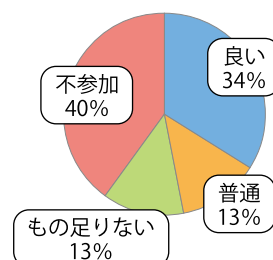
ご意見

- ①先進施設の取り組みがきけて良かった。
- ②各施設の意見や状況を知るために会場参加としましたが、Zoom 視聴者への配慮もあり予定通りの時間が割かれなかったことは大変遺憾です。意見交換の場が設けられないのであれば、今後は動画視聴で事足りると感じました。短い時間でしたが、他施設の状況や職員の方々の生の声を聞けて、大変参考になりました。
- ③特別公演の時間がずれ込んだことで、繋ぎをしなればいけなかったのは大変だったと思います。お疲れ様でした。ただ、希望を確認しシンポジウムやグループワーク参加を企画しているのであれば、その時間を確保してシンポジストの発表の時間調整をすればよかったと感じた。グループワークもただ感想を言い合う丸投げ感が強く、あの少ない時間では、ただネガティブな自施設の状況を共有することしかできなかった。シンポジストの発表を通常と同じようにして、シンポジウムとグループワーク（人・物・マネージメントなどテーマを区切って）の時間がもっと欲しかった。
- ④人材不足と嘆いているだけでは、だめなことに気づかされたことと、生の学生の声が聞けて良かった。
- ⑤先生方の話は参考になるものが多かった。グループワークは参加した意味がわからなかった。

Q6, 2日目の「各施設の演題発表」についてご意見 ご感想をお聞かせください



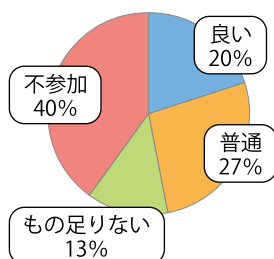
Q7, 「福祉用具・介護ロボット展示会」について ご意見ご感想をお聞かせください



ご意見

- ①体験、施設からの意見についても聞くことができて良かった。
- ②2日目に会場参加を行ったが、演題を聞くことを優先したことではほとんど福祉機器について見たり、聞いたりする時間が取れなかったのが残念でした。
- ③発表を聴いていると展示を見る時間が昼休憩しかなくて十分には見れなかった。

Q8, 「介護の仕事理解促進事業」についてご意見 ご感想をお聞かせください

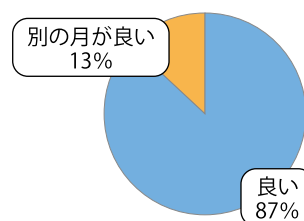


ご意見

- ①認知度（周知）が低い。もっと広報が必要と思われます。
- ②企画発案は素晴らしいと考えます。
- ③学生さんは興味なさそうでした。

Q9-1, 開催時期についてご意見ご感想をお聞かせ ください

【開催時期について 2月中旬開催は】

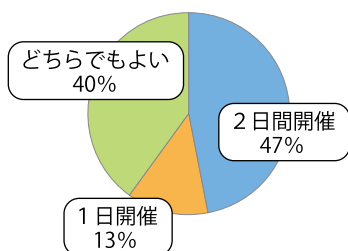


ご意見

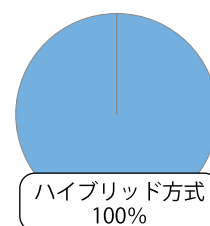
- ①感染症の流行時期は避けたほうが良いのではないのでしょうか月頃
- ②9月頃がよい

Q9-2, 開催時期についてご意見ご感想をお聞かせください

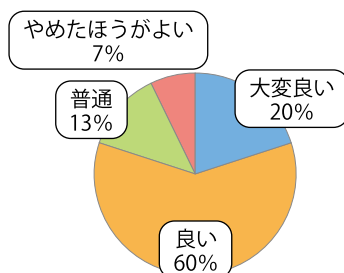
【開催日数については】



Q10, 県大会方式に対して、ご要望等ありましたら お聞かせください



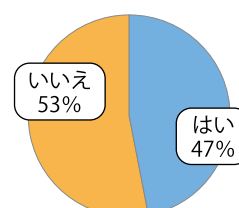
Q11, 令和3年度から新たに「YouTube」を導入しましたが ご意見をお聞かせください



ご意見

- ①グループワークができないため問題あり。
- ②オンデマンド配信はできないか。多くの職員に参加してもらいたい。
- ③リアルタイムで無くても視聴することができ、再度見直しや聞き直しも出来るのが良いと思います。

Q12, 来年の発表予定はありますか？



Q13、多くの方に演題発表していただくためには何が必要だと思いますか？

(or どうやったら演題が増やせますか？)

- ①取り組んではいますが、慢性的な人手不足や感染症発生時の対応などにより、抄録等をまとめる時間がない状況にあります。まずは人手を増やすこと、時間を作ること。行政にはもっと広報して介護職員が増えるように取り組んでもらいたい。
- ②例えば参加された施設へ賞金やまた優秀作品への表彰などいかがでしょうか。
- ③研修参加も含め、人材不足の影響が大きいと思います。以前、色々な取り組みをしていたことも、このコロナ禍での流れと人材不足の影響で、現場にケアを維持すること以外の余裕がなくなってきた。ここに色々な加算が重なり、色々な職種が利用者ではなく書類や情報・データに向き合わなければいけない時間が増えていき、どんどん悪循環になっていく気がする。それでも頑張りたい職員も沢山いますが、施設内での意識の温度差が以前より大きくなり、施設ごとの格差も大きくなり、現場の人達からすると老健大会はどこか他人事になっているのかなと感じます。頑張っている人達が疎外感を持たないように横のつながりも含めた交流の場は必要かなと感じます。
- ④コロナ禍であったり人材不足でできないことも多いですが自施設内での教育に組み込んだらどうでしょうか？
- ⑤発表を施設、事業所の求人広告、アピールに使えるなら。

Q14、今後の特別公演の講師等についてご希望がありますか？

Q3に同じ

【その他 何でも】

- ① 1. 各施設からの演題発表内容
演題発表された施設においては多大な労力と時間を割いて内容をまとめられたことと思います。当施設のように仲間の老健施設や監督官庁が近隣になく各種情報を得るのが難しい離島の老健にとって演題の多くが非常に貴重なものでした。
発表内容は A4 1 枚に凝縮され抄録集に載せられておりますが、その背景には多くの調査記録、統計資料、作業記録及びその考察等があると思います。この貴重な資料を埋もれさせるのは勿体ないと考えますので次のことを検討していただきたい。
(1) 発表した施設において、上記調査・統計・作業記録等を含めて施設の HP に自主的にアップすること。
(2) 老健協会において、当年度の各施設の演題の中から優秀なものを選び(各セッションにつき 1 題とか)、上記同様に老健協会の HP にアップすること。
※「ろうけん鹿児島」にも研修内容が載っていますが、これにも上記同様詳細な資料等を添付してもらいたい。
2. 各年度のトピックや核施設の関心事項について予めアンケートをとって、大会当日にその集計結果を配布してどうか。
(例) ①対面面会の実施状況・・・今回、質問の時間を借りて対面面会を実施している施設を挙手により調査してもらったところ約 30～40%で実施すみのよう。
②〇〇ワクチンの職場接種・施設
- ②元気になる話を聞きたいです。
- ③ハイブリッド方式になり、利便性は良いかと思いますが、会場参加者が少なすぎるので活気がなく大会というイメージがわきにくく盛り上がり欠けているように感じた。

こぼれおちた

ものもの

40

三角 みづ紀



午前三時半に、部屋の前で音量の音楽が流れはじめた。夫は寝室から出てきたし、隣人も起きた気配がする。上階に住むひとが椅子を引く音がした。

いくら土曜日とはいえども、さすがに迷惑だろうといった気持ちと、これらを咎め^{とが}ないメキシコのひとびとの寛容さを思った。

二〇二四年、春。わたしはメキシコシティを再訪していた。一月半ばに帰国し、息をつくまもなく真冬に戻って戸惑い、日本より一万キロ以上離れた国に焦がれた。

そうして、すばやくふたたびの滞在を決めたのだった。旅行で来ることは、いつだってできる。でも暮らすように過ごすのは、夫が滞在する夏までしかできない。

今回のわたしたちの部屋は、シティの南部にあるコヨアカンという場所に位置する。博物館がたく

暮らすように過ごす



さんあって、教会もあり、古い町並みに見惚^とれてしまうところ。週末になったら観光客であふれる心地へと散策する。二十分ほど歩

いたら、土産ものが並んでいる広場に到着する。

前回の滞在ではエッセイをいっぱい書いた。今回は詩を綴^{つづ}ろうと考える、寝て起きて、書いて、食事

をとり、散歩をしていたらあつというまに二週間が経った。時間は一定の速度では進まない。

雨季が近づく町は湿度をはらみ、ハカランダの花が咲きみだれている。薄紫の花をつける大きな木は、メキシコの春の象徴らしい。桜が咲いたね、と話題にするみたいに、ハカランダが咲いたね、と口にするのだろうか。

昼食のためにトルティーヤ屋さんへ寄つたら、どこから来たのか問われる。日本と答えたら、美しい花があるよね、と伝えてきた。おそろく桜のことだ。みんな、春を示す花を大切にしているのだ。

観光地がすぐそこにあるいつぱうで、わたしたちが三ヶ月借りている部屋のある通りは、治安があまり良くない。明け方に出会った男性は、その路地に住んでいると言った。

食べものはないかと問うてきたひとにバナナとお菓子を渡して、すこしだけ会話を交わす。

良い一日を、と言って去っていった男性の後ろ姿を見つめる。家がないのではなく、路地に住んでいる。その言葉を反芻^{すう}した。

歩いていたら市場に行きあうのも、この町の特徴かもしれない。市の許可が出ている青空市は、テントが赤い。その赤さが野菜や果

物、肉やチーズを染めている。

茶色のジュースを売っている屋台があつて、ひとつ買い求めたら、飲みきれないほどの大きさのコップを手渡された。パイナップルの皮を発酵させたもので、テパチェと呼ばれる飲みもの。

前回の滞在でじゅうぶん知つたつもりでも、知らない物事はまだまだある。その事実感謝しつつ、わたしはまた、心地よい忙しさのなかで生活できそうだ。

「さかいめ」

乾季から雨季へと向かうさかいめの通りを歩いたやっぱり日射しは強くて懐かしい匂いがただようはじめての色もただよう知らないことがあつてもおそれることはないから

夏を過ごす自分の姿が想像できないが、わからないゆえに楽しさはある。手をつないで今日を歩いていく。

三角みづ紀(みすみ・みづき) 1981年鹿児島市生まれ。東京造形大学視覚伝達学科在学中に現代詩手帖賞、第1詩集で中原中也賞を受賞。第2詩集で南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。著書多数。執筆のほか朗読活動も精力的に行い国内外の詩祭に招致される。近年は美術作品として詩を制作する等、あらゆる表現を現代詩として発信している。第22回(平成26年度)萩原朔太郎賞受賞。

介護老人保健施設ナーシングひだまり（鹿屋市）
理学療法士 佐藤 晃季

症例②

S氏 90代 女性 介護度：1

既往：癒着性イレウス 廃用症候

群 両人工膝関節置換術後

HDS-R：20↓19／30点

BI：45／100点↓80／

100点

●入所時の状態

基本動作自立。立位時のフラツキあり、転倒リスク高い。移動は車椅子。

昼・夜Pトイレ。

●家族の希望

今まで通りできればいいが、家には段差もあるし有料老人ホームを検討したい。

●在宅復帰後の課題

①長男嫁不在の為、洗濯や掃除など支援に不安あり ②入浴、食事の支援は困難 ③身体機能を維持して欲しい ④上がり框の昇降動作 ⑤室内は伝い歩きが主であり不安

**結果****症例①：基本動作自立レベルに**

回復。ラビット型歩行器で歩行可能。終日フロアトイレを使用しトイレ動作自立。①②③通所リハビリ…2回/週、ヘルパー…2回/週利用を提案。福祉用具はラビット型歩行器、車椅子をレンタルし、住宅改修にてスロープの設置を検討。④家族所有の福祉車両で送迎する事となる。⑤⑥退所前訪問時、トイレ前での方向転換、トイレ内の伝い歩きを確認し安全に実施可能。

症例②：立位保持能力改善し、シルバーカーにて歩行自立。日中フロアトイレ、夜間Pトイレでトイレ

動作自立。①②③通所リハビリ、昼・夕食サービスを4回/週ずつ提案。④入所後手すりは設置されており、リハビリで段差昇降動作獲得。退所前訪問の際、動作確認し実施可能。⑤室内移動は、ハッピーミニ歩行器利用し可能。

症例①②ともに家族の了承得られ、在宅復帰に至った。

考察

老健からの在宅復帰について中村は「利用者のADL向上と、家族の価値観や精神的・身体的な面で支援する為の、情報共有や支援体制確立が重要」と述べている。本症例も当初、家族は在宅復帰に否定的であった。リハビリの提供により、ADLの向上が見込めると「在宅サービス支援シート」を通して家族・施設ケアマネと情報共有する事で在宅復帰に向けての共有認識が生まれた。また、退所前訪問では在宅サービスの内容や、レスパイト目的での短期入所・デイケア等の利用など、在宅復帰後の支援体制について説明した。福祉用具は歩行器での室内移動中心に、その場で実践し具体的な身体機能についてイメージがわくように努めた。今

回りハビリの視点から、利用者が在宅生活を継続できるよう支援体制の確立を行い、家族が在宅復帰に対して肯定的になるきっかけを作ることが出来たと考える。今後も「在宅サービス支援シート」を活用し、施設ケアマネと連携を取りながら、切れ目のないサービス体制を整え、利用者・家族のより良い在宅生活に向けて支援していきたい。



研究める

よりよい介護を目ざし日々研さんを重ねている各施設・各職種から、あらゆる工夫と努力の経過や成果を報告します。

ここまで出来た

在宅に戻るためのトイレ動作自立への取り組み

曾於医師会立 介護老人保健施設 ありあけ苑（志布志市）

介護福祉士 有留 成真・八尾 誠哉
理学療法士 小園 邦博・田原有佳里

【はじめに】

当施設では、利用者様の心身機能の維持回復を図り、居室における生活を営む事が出来るよう、施設介護サービス計画に基づき、医療・介護及び機能訓練に努めている。

今回、移乗動作がトランスファーボードを使用し2人介助が必要な70代女性を担当した。入所当初はオムツ対応であったが、ご本人様の家に帰りたい…という思いに寄り添い、多職種連携にてトイレ動作獲得に取り組み、1年後、在宅復帰につなげるこ

【症例紹介】

70代 女性 要介護4 障害自立度：C2 認知症自立度は自立夫との二人暮らし 身長：160cm 体重：77kg BMI：30.1（肥満2度）
既往歴：変形性股関節症・変形性

膝関節症（股・膝関節に高度な関節可動域制限あり）、脳梗塞右不全麻痺、腹壁癒痕ヘルニア、肺炎。

【経緯と多職種での検討】

平成30年、脳梗塞発症し退院後は自宅で横になる時間が増え始め、家事も夫に依存するようになる。その後、左股関節・膝関節周囲の痛みの増加により歩行困難、四つ這い生活となり、令和4年2月、腹壁癒痕ヘルニア、肺炎にてA病院に入院。その後、令和4年4月当苑入所。

入所4ヶ月を過ぎたころ、『家で生活したいが、夫に迷惑を掛けたくない』との本人様の言葉があり、多職種にて在宅復帰の可能性を検討した。そして、

①介護者の問題：息子様が他県在住の為、夫が主介護者となる。しかし、夫は70代と若い腰痛があり、起立・移乗動作、トイレ等の介

護が困難。

②住居の問題：借家で上がり框が高く、廊下幅も狭いため、車椅子での在宅復帰は困難。

①②が、在宅復帰の課題として考えられ、移乗動作・トイレ動作の獲得と車椅子で生活できる住居変更に取り組むこととした。

【取り組みと情報共有】

介護福祉士：日中、オムツから紙パンツに変更し、トイレ誘導を行う。理学療法士：起立・起立保持訓練、移乗動作訓練実施（担当理学療法士と実習生による週5日、1日2回の個別リハビリ）。

管理栄養士：体重コントロールと食事教育、77kg↓56kgを目標に、エネルギーコントロール食を提供。

又、変化していく残存能力をしっかりと利用したトイレ誘導を行っていくために、①動作レベルが変化する

ごとに、リハスタッフとトイレ動作確認し介護方法の検討。②トイレへの移乗動作をタブレットにて撮影し、介護方法の情報共有。③ケアカンファレンスにて、目標・動作状態を確認等の情報共有を行った。

【トイレ誘導の経過】

入所4ヶ月目の9月からトイレ誘導を開始した。しかし、誘導開始時は、車椅子からトイレへの移乗に3分ほどかかり、かなり本人様に負担がかかるため、まずは、午後3時のティータイム後に2人介助にて1日1回のトイレ誘導を開始した。

2ヶ月後、起立が安定し移乗動作が一人介助にて可能となった為、昼食後、ティータイム後の1日2回のトイレ誘導を行い、ズボン・パンツの下ろしも開始した。

3ヶ月後、ズボン・パンツの下ろしや移乗動作が見守りにて出来る様

【結果1】体重:77kg → 56kg



R4年5月



R5年5月

本人様も、『軽くなった！』と言われる！

になったため、毎食後1日3回のトイレ誘導を行い、時間を要するズボン・パンツの上げにも取り組んだ。
5ヶ月後・ズボン・パンツの上げ下ろしまで含めて、日中のトイレ動作自立となり、本人様も「最初は不安だったけど、トイレに行けるようになって良かった」と言われるようになった。
日中のトイレ動作が自立した後、在宅復帰に向けて夜間のトイレ誘導とトイレ誘導を行ったが、翌日「よく眠れなかった」と言われ、睡眠不足により日中の臥床時間が増加し、活動量が低下した。そして、夜間は、眠り

【結果2】トイレ動作:2人介助 → 自立



R4年9月



R5年6月

が深く尿量も多かったため、夜間のトイレ誘導を行うと連日失禁を繰り返すようになった。そこで、本人様の意向を確認すると、夜は「ゆつくり寝たい」との希望があったため、夜間は尿取りパッドを使用し、起床時に尿取りパッド交換訓練を指導し自立となった。
【結果と住居変更】
・体重:77kg → 56kg (結果1参照)
・トイレ動作:2人介助 → 自立 (結果2参照)
・バーサルインデックス:10点 → 70点 (結果3参照)
住居に関しては、車椅子でトイレ

【結果3】Barthel index の変化

	食事	移乗	整容	トイレ動作	入浴	移動	階段	更衣	排便 自製	排尿 自製	合計
入所時	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
退所時	10	15	5	10	0	5	0	10	10	5	70

が使用できるバリアフリーの市営住宅が見つかり(結果4参照)、住居変更し令和5年6月、新宅へ退所となった。
【考察とまとめ】
入所当初は、食事摂取動作以外全介助ということから、在宅復帰は困難と考えられ車椅子介ベッド間の移乗動作の介助量軽減が目標であったが、入所9ヵ月目にトイレ動作が獲得できた。
理由としては、77kgから56kgと21kgの減量に成功し動きやすくなったこと。短期集中リハビリ終了後も1日2回の個別リハビリを継続し、下

【結果4】住居変更

旧宅



新宅:バリアフリーの市営住宅へ



肢筋力が向上したこと、そして、在宅では自ら動くことは少なく臥床傾向であったが、多くの職員の関わり・誘導でトイレ動作に取り組む意欲が継続したことがトイレ動作自立につながったと考える。
退所後、入所前は夫に家事を依存していた本人様だったが、「夫に何か作ってあげたい」と言われるようになり、在宅復帰後の現在は夫と台所に立ち料理をされている。
引き続き多職種で連携を強化し、利用者の思いに寄り添った目標を立て、取り組んでいきたいと思う。

令和6年度 研修会

第2回事務長部会

日 時：令和6年3月22日（金）14：00～16：00

会 場：医師会館3F中ホール及びZOOM配信等によるハイブリット方式

参加人数：96名（ZOOM86名 会場10名）

テーマ

「介護老人保健施設における介護報酬改定の概要」

講 師：村上 佳子 先生

（株式会社M&Cパートナーコンサルティング 代表取締役）

今回の事務長部会の講演につきまして、アンケートの結果をまとめましたのでみなさんと共有していければと存じます。

【アンケート結果】 返信 16通

1. 評価

- ・非常に良かった 8
- ・良かった 8

2. 理解

- ・よく理解できた 9
- ・どちらかといえば理解できた 7

3. 今後、改善したほうが良いと思う項目

- ・特になし

4. 次回はどのような研修会を希望しますか（テーマ・内容・講師など）

- ・処遇改善加算系に特化した研修
- ・LIFEについて
- ・コロナ感染症流行前後の施設運営の変化
- ・介護老人保健施設が今後継続していくために必要なポイント

5. 本日の講師や、研修の内容について感想をお書きください

- ・毎回、村上先生の講演は現場を知ってらっしゃることもあって、近しい方からの教えとして受け止めることができます。
- ・色々再確認させていただきました。ありがとうございます。
- ・ご自身の言葉でハキハキとお話されるので、テンポよく聞きやすかったです。
- ・介護報酬改定について現在施設で取り組んでいる内容と合致していたのでとても参考になりました。
- ・制度改定の内容がよくわかった。対応できるように準備したい。



- ・算定要件等の説明がわかりやすかった。やや早口にも聞こえたが資料と見比べる事で支障にはならなかった。
- ・老健職員の立場もよく理解されておられ、私たちの気持ちを代弁される場面もあり講師に対して共感が持てた。
- ・村上先生本日の講義ありがとうございました。4月からの改定・加算等について理解できました。

今回の改定を受け新設加算等の準備をするかたわらに、国の老健に対するメッセージは何かを考えていかないとこれから先厳しい環境にたたされるのではないかなと思う。

在宅復帰施設としての機能強化にシフトを変更していることは明らかなので、しっかりと今後の傾向を予測しつつ、それに対応する環境を整えていかなければならないかなと思った。

これから介護業界だけではなく、どの業界も人手が足りなくなるのは明らかなので今いる職員が定着し、求職者から選んでいただけるような環境を作っていくことは早急に取り組まなければならない課題であると思った。

介護老人保健施設パラディーノほたるの里 事務長 中山 賢二

協会だより

令和5年11月～

●令和6年度第1回理事会

開催日：令和6年6月3日(月)16:30～
開催方法：鹿児島県医師会館3階小会議室及び
Zoomによる配信
議題：令和5年度の事業計画(案)及び収支報告等について

●第6年度第1回事務長及び事務部会

開催日：令和6年6月21日(金)
14:00～16:00(予定)
場 所：鹿児島県医師会館3階中ホール
テーマ：「人員不足における離職防止への取り組み」(仮題)
講 師：源島 早紀 先生
(株式会社タイミー 事業開発部マネージャー)

●令和6年度第1回会員総会

開催日：令和6年6月21日(月)16:30～
開催方法：鹿児島県医師会館3階小会議室及び
Zoomによる配信
議題：令和5年度の事業計画(案)及び収支報告等について

●令和6年度第2回事務部会

開催日：令和6年7月4日(木)14:00～16:00(予定)
開催方法：オンライン(Zoom)
テーマ：「今考えるCOVID-19の特徴と対応～特に注意を要するバックグラウンドと予防の重要性について～」
講 師：江田 誉 先生
(ファイザー株式会社
メディカルサイエンス・コミュニケーションチーム
骨・免疫学分野 部長 医師 医学博士)

●令和6年度第1回PT・OT・ST部会

開催日：令和6年7月24日(水)14:00～16:00(予定)
場 所：鹿児島県医師会館3階中ホール及び
Zoomによる配信
テーマ：「職場における腰痛予防への取り組みの紹介
～腰痛予防の実際～」
講 師：矢山 勉 先生(菊野病院 理学療法士)

●令和6年度第1回給食部会

開催日：令和6年8月7日(水)14:00～16:00(予定)
場 所：鹿児島県医師会館3階中ホール及び
Zoomによる配信
テーマ：「サルコペニア低栄養について」(仮題)
講 師：吉村 芳弘 先生
(熊本リハビリテーション病院 サルコペニア・
低栄養研究所センター長)

【ご参考】

●第23回九州ブロック介護老人保健施設大会 in みやざき
開催日：令和6年7月11日(木)～12日(金)
場 所：フェニックス・シーガイア・リゾート コンベンションセンター
テーマ：老健 今!!!明日に繋げる「チームの力」
一人ひとりにかけがえのないひなた

●第35回全国介護老人保健施設大会 岐阜

開催日：令和6年11月14日(木)～15日(金)
場 所：長良川国際会議場他
テーマ：再び、地域が動く～多様性を包摂する
老健のさらなる共進(共鳴・共生進化)を～

(※)本号編集時点の情報です。やむを得ず変更する場合があります。詳細が確定次第あらためてファックスで会員施設へご案内します。

ぶらぶらが素敵 かごしま

vol.16

東川隆太郎

NPO法人まちづくり地域フォーラム・
かごしま探検の会代表理事



松山神社



松山城跡

南北600キロに及ぶ鹿児島県。気候や風土、文化に歴史にもそれぞれの地域に特徴があり、県内をめぐらなくても相当な発見があります。そのような鹿児島県の意外な魅力を様々な角度から訪ねてみる連載です。

志布志市松山を訪ねて①

濃い文化財が点在 志布志の旧松山町

志布志市の旧松山町は、江戸時代までは松山郷と呼ばれていた。郷の石高は江戸後期の文政9（1826）年で2272石と大きな郷ではない。日向国に属し、大隅国との国境地域でもあった。

それだけに戦国期まで活躍した松山城は、ふもとから本丸までの高さは約55^{メートル}、本丸・二之丸・八幡城・五兵衛城と大きく4つに曲輪が分かれており、広さは約2・5^{ヘクタール}ある。室町期の嘉吉元（1441）年には室町幕府の將軍足利義教を殺害した赤松満祐の子の教康がこの地に逃れて来たとされている。

戦国期初めには平山氏が城を治めていたが、肝付氏に攻略され、さらに島津氏の支配下に置かれることになった。太平洋戦争末期には、志布志湾などに上陸が予想された米軍に対抗するための積兵団司令部が設置され、時代を超えて城の役割を担っていたことになる。

その城跡には現在は松山神社がある。かつては八幡城の場所にあったとされ、正八幡社と称していた。創建年代は不明で、御祭神は神功皇后や応神天皇など。天正17（1589）年には島津義弘が社殿を修復したとされている。松山城の南



泰野のまちなみ



野久尾の庚申供養塔



地頭仮屋跡



石敢当



野町の恵比寿



馬場

麓に江戸期には地域を統括する地頭仮屋が置かれていた。

その周辺に麓と呼ばれる士族の居住地区がある。現在の字では馬場と野久尾と呼ばれる地域で、馬場には武家門の残る家もあり、すぐ近くには高さが約1層もの庚申供養塔もある。ちなみに野久尾にも高さが約60センチの庚申供養塔が辻にある。

江戸時代、町人町は旧松山町の泰野にあった。野町と呼ばれ、現在の商店街にあたる。泰野の中心には野町の守り神である恵比寿様があり、現在も大切に地域を見守っている。この泰野の町の人々のルーツは薩摩半島からの移住というケースもあり、川辺や加世田が先祖の出身という。

また、泰野には通り沿いに古い石敢当もある。これは三叉路に置かれる魔よけの石だが、鹿兒島の石敢当としては珍しく建立の年号が刻まれている。頭の文字の判読が困難だが元和3（1617）年または明和3（1766）年と読むことができ、建立には大進坊というお坊さんが関与したようである。

まだまだ、松山には濃い文化財が点在しているので次回に続けてみたい。

（ひがしかわ・りゅうたろう）1972年、鹿兒島市生まれ。鹿兒島大学理学部地学科卒業。自他共に認める「まち歩き」のプロ。ガイドや講演会活動を通じて鹿兒島の魅力を伝える活動が続いている。



駅舎の飲食・交流スペースは
モダンな雰囲気が漂う



駅の近くにある石倉はカフェと
ギャラリー。夜、カフェはバーに



駅舎の全景



改修された駅舎の一部



宮崎行きの特急も停車する。
周りは緑に包まれている



おいしそうなスイーツを扱っている



プラットフォームから改札口に
向かうと太い丸太の柱や天井が
出迎える



木材をふんだんに使った駅舎にいとほっとする

「霧島神宮駅」(霧島市霧島大窪)

ふろしとフオーカス

一番近い。インバウンド客の利用が目立ち、駅に降り立つ客の言葉はハングル、中国語、英語など多彩だ。

新駅舎は鉄筋コンクリート製平屋で、広さは約290平方メートル。樹齢100年の杉の柱（高さ4メートル）を中心に据え、天井に木の格子を組むなど自然豊かな環境を演出。観光列車の「36ふらす3」の金曜ルート（鹿児島中央―宮崎）も停車する魅力的な駅に仕上がっている。

JR日豊線の霧島神宮駅の駅舎が今年3月にリニューアルオープン。県産の杉材をふんだんに使った温かみのある空間に飲食ブースや交流スペース、ギャラリーが並び、「にぎわいのある駅」に生まれ変わった。

特急も停車する同駅は、国宝の霧島神宮、高千穂など霧島連山にも

にぎわいのある駅に

霧島産のそば粉を使っており、列車待ちの乗客らがおいしそうに味わっていた。

駅に近い石蔵はギャラリー兼カフェバーに改修され、隣には鹿児島大学建築学科と連携したサウナがオープンする予定。駅の利用者だけでなく、駅舎目当てにやってくる客も多く、新駅は霧島観光の新たな名所になっている。

(編集委員・米森)



千葉しのぶさん

夏編

かごしまの食卓

ちばしのぶ NPO法人霧島食育研究会理事長、管理栄養士・フードコーディネーター。
「霧島・食の文化祭」「かごしま郷土料理マイスター講座」などを主宰する。
2020年千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオを設立。著書に「はじめての郷土料理」(燦燦舎)など。



カボチャは漢字で書くと「南瓜」。「南京（なんきん）」と呼ぶこともあります。鹿児島県のカボチャの出荷量は北海道に次いで全国 2 位を誇ります。県内の主な産地は指宿市、南さつま市、伊佐市で、粘質系・粉質系ともに栽培されています。たっぷりのひき肉とタマネギとともに炒めてから煮つけると甘めな味付けと肉の旨みがカボチャに染みこみます。

レシピ

4人分

- カボチャ 500g^ア
- 豚ひき肉 200g^ア
- タマネギ 100g^ア
- 油 大さじ 1
- 調味料(砂糖・薄口しょうゆ各大さじ 2)
- サヤインゲン 4本
- 塩 適宜

- ①カボチャは種とワタをのぞき、皮付きのままひと口大に切る。
- ②タマネギは粗みじん切りにする。
- ③鍋に油をひき、豚ひき肉、②を入れて中火で炒め、豚ひき肉に火が通ったら①を加えて大きく混ぜ、ヒタヒタになる程度に水を加え、強火で煮る。
- ④③が沸騰したらアクをのぞき、調味料を加え、静かに沸騰が続く程度の火加減にし、おとしぶたをしてカボチャに火が通るまで煮る。
- ⑤サヤインゲンは塩ゆでし、斜め薄切りにする。
- ⑥④を器に盛り、⑤を添える。

カボチャのそぼろ煮



煮るときに加える水は、食材の表面が水から少し出るくらいのヒタヒタにしましょう。多すぎると水っぽい味付けになります。

あゆめし



大きなアユがない場合は、中サイズであれば 3 尾、小さいサイズのものは 4 尾使うとよいでしょう。

県内各地の川でアユ釣りの解禁を迎えています。アユは別名「香魚」。岩や小石に生える藻類を食べることより、スイカやキュウリに似た独特の香りを持っているとされます。特に初夏の若鮎は美味です。塩焼きが定番ですが、焼いた鮎を丸ごと炊き込みご飯にすると、上品でさわやかな旨みがご飯全体に染みこみます。

レシピ

4人分

- アユ 大2尾
- 塩 適宜
- 米 2合(300g^ア)
- 調味料
(薄口しょうゆ 大さじ 2、本みりん 大さじ 1)

- ①米は洗いザルにあげておく。
- ②アユは表面のぬめりを軽く洗い落とし、下腹部分を頭側から尾びれに向かってしごいてふんを出す。2～3 度しごいて出てこなければそのまま使う。水気をふき取り、薄く表面に塩を振り、魚焼きグリルで強火で焼き、焼き色をつける(アユは炊飯器の中でも加熱されるので、完全に火を通す必要はない)
- ③炊飯器に①と調味料を入れ、炊飯器の 2 合の目盛りまで水を加え混ぜる。その上にアユをのせてすぐに炊飯する。
- ④炊き上がった鮎をとりだし、頭、骨、ヒレなどを取り除いて身をほぐし、ご飯に混ぜる。

介護用品 あれこれ

介護用品あれこれ

～車椅子用クッションの必要性～

(株)カクイックスウィング 作業療法士、福祉用具プランナー管理指導者 湯脇 稔

はじめに

最近の高機能車椅子では、厚み 4 ～ 5cm 程度のクッションが標準で付属しているものが多く見受けられます。しかし 30 分程度の短時間の乗車であればその標準装備のクッションで疼痛軽減や褥瘡予防に寄与してくれますが、一日のほとんどを車椅子上で過ごす方や、自分で姿勢変換できない方にとっては役不足といわざるを得ません。

更に、一般的に標準型と呼ばれる安価な車椅子ではクッションすら付属していません。

今回は車椅子用クッションの必要性や種類について説明させていただきます。

車椅子用クッションの必要性

車椅子用クッションの主な役割は①褥瘡予防、②疼痛軽減、③座位保持の大きく 3 つがあると考えられます。

褥瘡予防では、ベッド上仰臥位で仙骨周辺に体重の 45%程度の重さがかかるのに対し、車椅子座位では座骨周辺に体重の 60%がかかるといわれています。更に車椅子上で適切な座位保持ができていないと臀部が前方へ滑る力が加わり、座骨だけでなく尾骨にズレ力が加わり褥瘡発生リスクは倍増します。

疼痛軽減では、車椅子を必要とされる方々は臀部周りの筋肉量が減少されている方が多く、車椅子座面に直接座骨が接触している状態となっています。車椅子の座面はキャンプ等で使用する折り畳み椅子と同様であり、疼痛を軽減する機能はありません。

座位保持では、車椅子座位で良く見られる滑り座り対策として、まずは身体機能や体格に適合した車椅子選定ですが、いくら適合する車椅子を選定しても座面は布一枚です。

クッションを使用しないと布一枚の上に座骨部分のみで座る形となり身体を支えることはできません。

車椅子用クッションの種類

障害者総合支援法における補装具では、大きく分けて①ウレタン等の多層構造のクッション、②ゲルとウレタンフォームの組み合わせクッション、③空気バルブ調整式クッション、④特殊な空気室構造クッションに分類されます。

このようなクッションの選び方につきましては、①～④の分類だけでなく、クッションメーカーより多種多様なクッションが発売されていますので、リハビリテーション専門職や、車椅子に精通した福祉用具専門相談員などに相談されると良いかと思います。

(車椅子クッションの選び方 (例))

高い方 床ずれのリスク 低い方	 75F (減圧)	 100C (座位保持+減圧)	
	厚み 75mm フラット形状	厚み 55~100mm 3D形状	
	詳しく見る >	詳しく見る >	
	 60F (減圧+汎用)	 70C (座位保持+転ずれ防止)	 80C (座位保持+減圧)
	厚み 60mm フラット形状	厚み 48~70mm アンカー形状	厚み 35~80mm 3D形状
	詳しく見る >	詳しく見る >	詳しく見る >
	 40F (薄型)		
	厚み 40mm フラット形状		
	詳しく見る >		
	座位を保つことができる方	座位が崩れやすい方	自分で座位が 変えられない方

株式会社 加地 アウルケアシリーズカタログより引用

終わりに

「なぜ自動車は何時間運転しても耐え難いほどにお尻が痛くならない」のでしょうか、多分、運転者は自分で座り直しすることができ、クッション性に優れた座面や背もたれで、クライニング角度や座面調整ができるからではないでしょうか。

高齢の車椅子ユーザーで座り直しができる方は少なく、ほとんどの普通型車椅子はリクライニング調整や座面調整機構はなく、座面自体も布一枚の折り畳み椅子です。

車椅子自体を高機能な物に変更するのは費用が嵩みますが、せめて除圧効果や座位保持能力に優れたクッションを使用していただき、快適な車椅子生活を提案されてはいかがでしょうか。

あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



⑦ろうけん始良

〒899-5652 始良市平松5062
☎0995-65-8091 FAX 0995-67-1474

希望ヶ丘病院
居宅介護支援事業所ろうけん始良
訪問介護事業所ろうけん始良



⑧青雲荘

〒899-5431 始良市西餅田3024番地1
☎0995-65-8181 FAX 0995-64-5255

青雲会病院
居宅介護支援事業所青雲



⑨アメニティ国分

〒899-4301 霧島市国分重久361-1
☎0995-64-0666 FAX 0995-45-4515

鶴木医院(指定介護療養型医療施設)
うのきデイサービス(認知症専用)
ヘルパーステーションアメニティ国分

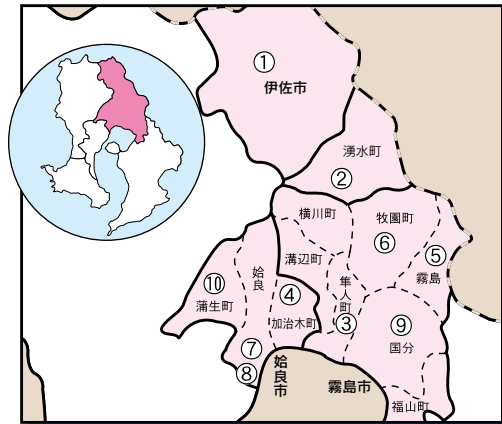


⑩ろうけん大楠

〒899-5304 始良市蒲生町下久徳1249-1
☎0995-54-3333 FAX 0995-54-3338

ろうけん大楠グループホーム「たんぼほ」
ろうけん大楠居宅介護支援事業所
大楠苑(特別養護老人ホーム)

伊佐・始良地区



①はやひと

〒895-2504 伊佐市大口青木3022-33
☎0995-22-8000 FAX 0995-22-4868

大口温泉リハビリテーション病院
ことぶき園(特別養護老人ホーム)
グリーンハイツ周山(ケアハウス)



②寿芳苑

〒899-6202 始良郡湧水町北方1857
☎0995-74-3300 FAX 0995-74-2504

あいらの森ホスピタル
グリーン光芳(特別養護老人ホーム)
グループホーム愛の里



③希望の里

〒899-5111 霧島市隼人町姫城2-157
☎0995-43-1600 FAX 0995-43-2359

隼人温泉病院(療養型病床あり)
訪問看護ステーション姫城
グループホーム「ゆうゆう」



④シルバータウン加治木

〒899-5241 始良市加治木町木田4719-1
☎0995-62-5755 FAX 0995-62-5756

加治木温泉病院
加治木望岳園(特別養護老人ホーム)
龍門の里(軽費老人ホームA型)



⑤きりしま

〒899-4201 霧島市霧島田口2115-1
☎0995-57-3410 FAX 0995-57-3415

霧島杉安病院
訪問看護ステーションあんしん
グループホームゆめ

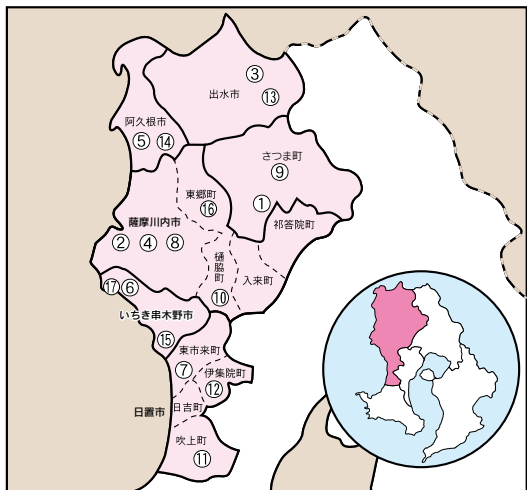


⑥サンライトホーム

〒899-6603 霧島市牧園町高千穂3617
☎0995-78-3811 FAX 0995-78-3387

霧島桜ヶ丘病院
霧島青葉園(身体障害者療護施設)
霧島青寿園(介護老人福祉施設)

日置・川薩・北薩地区



①クオリエ

〒895-1804 薩摩郡さつま町船木2311-8
☎0996-52-1100 FAX 0996-52-1134

クオリアリハビリテーション病院
訪問看護・リハクオラU
グループホームアリエ



②あじさい苑

〒895-0023 薩摩川内市横馬場町8-11
☎0996-23-6000 FAX 0996-23-6373

薩摩川内市在宅介護支援センターあじさい
きららクリニック
グループホームそら



⑫アンダンテ伊集院
〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺3-1303-10
☎099-272-5181 FAX 099-272-5999

湯田内科病院
ケアセンターリエゾン日置
(居宅介護支援事業・訪問介護事業)



⑬ラ・フォンテいずみ
〒899-0214 出水市五万石町281
☎0996-62-7005 FAX 0996-62-7008

しもそのクリニック
ラ・フォンテいずみ居宅介護支援事業所



⑭グリーンフォレストみかさ
〒899-1131 阿久根市脇本字柞木迫6313-1
☎0996-75-3222 FAX 0996-75-3238

黒木胃腸科外科医院
グリーンフォレストみかさ訪問看護ステーション
阿久根市在宅介護支援センターみかさ



⑮ライフハーバーいちき
〒899-2103 いちき串木野市大里2901-2
☎0996-36-5353 FAX 0996-36-5352

丸田病院
吹上園・市来松寿園
市来町在宅介護支援センター



⑯グレースホーム
〒895-1106 薩摩川内市東郷町斧淵8920番地
☎0996-21-6311 FAX 0996-21-6313

上村病院
グレースホーム訪問看護ステーション
グレースホーム居宅介護支援事業所



⑰ゆくさ白浜
〒896-0064 いちき串木野市羽島265-15
☎0996-35-0800 FAX 0996-31-0070

えんでん内科クリニック
(居宅介護支援事業・訪問介護事業)
グループホームもぜ

鹿児島地区



①城山老健
〒890-0014 鹿児島市草牟田1-4-10
☎099-225-3582 FAX 099-224-4096

植村病院
ケアハウス出合い坂
居宅介護支援・訪問介護センター草牟田出合い坂



②スイートケアなかよし
〒890-0005 鹿児島市下伊敷1-1-5
☎099-223-3390 FAX 099-222-6541

玉水会病院
いしき訪問看護ステーション

③城西ナーシングホーム
〒890-0046 鹿児島市西田1-16-1
☎099-258-9180 FAX 099-257-5712

土橋病院
居宅支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
デイサービスセンター ケアガーデン西田



③ニューライフいずみ
〒899-0217 出水市平和町336-1
☎0996-63-8000 FAX 0996-63-3161

吉井整形外科内科中央病院
ユニット型老健グランアージュ
鶴寿園(特別養護老人ホーム)



④長生園ナーシングセンター
〒895-0076 薩摩川内市大小路町51-3
☎0996-22-1121 FAX 0996-22-1120

永井病院
在宅介護支援センター 長生園
グループホーム 自立の家



⑤回生苑
〒899-1611 阿久根市赤瀬川551
☎0996-72-1661 FAX 0996-73-3788

内山病院
阿久根市在宅介護支援センター
桜ヶ丘荘(特別養護老人ホーム)



⑥さるびあ苑
〒896-0002 いちき串木野市春日町63
☎0996-32-8841 FAX 0996-32-8873

宮之原循環器内科
串木野市在宅介護支援センター
慈正会居宅介護支援事業所



⑦シルバーセンター光の里
〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1-6
☎099-273-5600 FAX 099-273-5700

前原総合医療病院
グループホーム あったかハウス
訪問看護ゆの里・訪問介護ふる里



⑧グリーンライフ川内
〒895-0065 薩摩川内市宮内町磯田2633
☎0996-20-2500 FAX 0996-20-2570

今村クリニック(整形外科)
薩摩川内市在宅介護支援センター
薩摩川内市ホームヘルパー事業(老人と障害者)



⑨パラディーノはたるの里
〒895-2104 薩摩郡さつま町柏原493-5
☎0996-53-1010 FAX 0996-53-1007

立志病院
鶴田町在宅介護支援センター
居宅介護支援事業所 パラディーノはたるの里



⑩グラン・ペリテびわき
〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2995
☎0996-38-2500 FAX 0996-38-2600

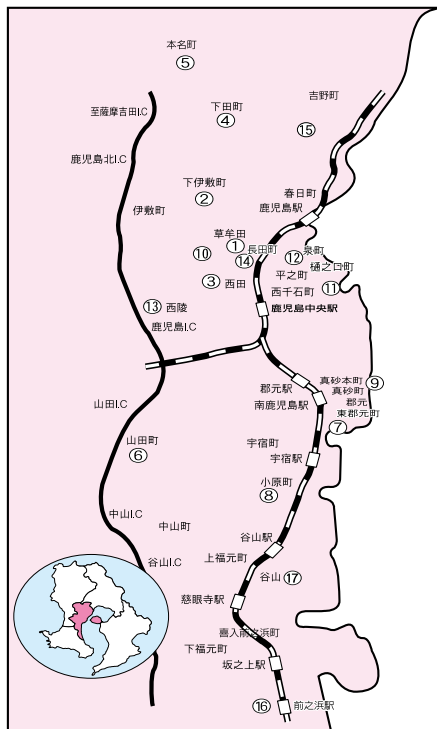
市比野記念病院
翠泉苑(特別養護老人ホーム)
指月苑(養護老人ホーム)



⑪湯の浦ナーシングホーム
〒899-3303 日置市吹上町湯之浦1353
☎099-296-5411 FAX 099-296-5422

外科 馬場病院
居宅介護支援事業所
(湯の浦ナーシングホーム・馬場病院)

あなたの地域の介護老人保健施設 76カ所



④さくらんぼ

〒892-0873 鹿児島市下田町1759
☎099-244-8811 FAX 099-244-8700

鹿児島市在宅介護支援センターさくらんぼ
ヘルパーステーションさくらんぼ
居宅介護支援事業所さくらんぼ



⑤吉田ナーシングホーム

〒891-1304 鹿児島市本名町472
☎099-294-4561 FAX 099-294-4562

ケアプランセンター木蓮
ヘルパーステーション ゆうばえ



⑥フレンドホーム

〒891-0104 鹿児島市山田町450
☎099-260-6000 FAX 099-268-1540

Tsukasa Health Care Hospital



⑦鴨池慈風苑

〒890-0068 鹿児島市東郡元町11-6
☎099-252-8291 FAX 099-252-5526

厚地脳神経外科病院
厚地リハビリテーション病院
在宅介護支援センター鴨池慈風苑



⑧愛と結の街

〒891-0111 鹿児島市小原町8-3
☎099-260-6060 FAX 099-284-5689

居宅介護支援事業所(居宅支援・訪問看護・訪問介護)
谷山病院
いづろ今村病院・今村総合病院



⑨ひまわり

〒890-0067 鹿児島市真砂本町3-81
☎099-285-2211 FAX 099-258-7971

大勝病院
訪問看護ステーション真砂本町
鹿児島市在宅介護支援センター真砂本町(居宅)



⑩まろにえ

〒890-0014 鹿児島市草牟田2-26-45
☎099-226-3270 FAX 099-226-3271

米盛病院
マロニエ訪問看護ステーション「護国」
整形外科米盛病院居宅介護支援事業所



⑪西千石

〒892-0847 鹿児島市西千石町8-13
☎099-223-3300 FAX 099-223-3560

日高病院
介護相談センター西千石
ヘルパーステーション西千石



⑫あさひ

〒892-0822 鹿児島市泉町8-2
☎099-225-8660 FAX 099-225-8601

中央病院
桜島病院
桜島苑(特別養護老人ホーム)



⑬ナーシングホーム田上苑

〒890-0032 鹿児島市西陵6-21-18
☎099-283-0120 FAX 099-283-0517

田上記念病院
居宅介護支援事業所はるかぜ
クレセル天保山(介護付有料老人ホーム)



⑭ナーシングホーム城山の森

〒892-0854 鹿児島市長田町223
☎099-219-1122 FAX 099-219-1123

中村(哲)産婦人科・内科
博悠会温泉病院
特別養護老人ホーム城山苑



⑮ろうけん青空

〒892-0871 鹿児島市吉野町6040番地7
☎099-243-4330 FAX 099-243-5599

明輝会クリニック
グループホーム帯迫&ひばり
小規模多機能ホームひばり



⑯サンシャインきいれ

〒891-0205 鹿児島市喜入前之浜町7808-1
☎0993-43-1176 FAX 0993-43-1186

特別養護老人ホーム喜入の里
新田クリニック
小規模多機能 前之浜



⑰光徳苑

〒891-0141 鹿児島市谷山中央2-4515
☎099-260-9777 FAX 099-260-5093



⑦おさしお

〒893-1103 鹿屋市吾平町麓3766-1
☎0994-58-5858 FAX 0994-58-5501

グループホームきらら
長崎内科
陵幸園(特別養護老人ホーム)



⑧ハーモニーガーデン

〒893-0014 鹿屋市寿4-1-43
☎0994-41-7800 FAX 0994-41-7802

平和台病院
介護保険相談センターハーモニーガーデン



⑨コスモス苑

〒891-2124 垂水市錦江町1-140
☎0994-32-5200 FAX 0994-32-5280

垂水市立医療センター、垂水中央病院
垂水市立在宅介護支援センターコスモス苑
居宅介護支援事業所コスモス苑



⑩みなみかぜ

〒893-2301 肝属郡錦江町神川88-1
☎0994-22-3100 FAX 0994-22-3105

肝属郡医師会立病院
居宅介護支援事業所みなみかぜ



⑪サンセリテのがた

〒899-8313 曾於郡大崎町野方6047-3
☎0994-71-0088 FAX 0994-78-3201

はるびゅうクリニック
訪問看護ステーションふるる
居宅介護支援事業所サンセリテのがた



⑫ありあけ苑

〒899-7402 志布志市有明町野井倉8288-1
☎099-477-2331 FAX 099-477-2335

曾於医師会立訪問看護ステーション
曾於医師会立居宅介護支援事業所



⑬絆

〒891-2104 垂水市田神3536番地1
☎0994-32-6161 FAX 0994-32-6163

池田温泉クリニック
グループホームひまわり苑
小規模多機能ホームひまわりの里

南薩地区



①指宿温泉菜の花苑

〒891-0402 指宿市十町418-1
☎0993-24-3255 FAX 0993-22-3239

今林整形外科病院
明正会介護支援ネットワーク菜の花
(居宅介護支援事業所)

曾於・肝属地区



①高原ナーシングホーム

〒899-8602 曾於市末吉町栄町2-11-1
☎0986-76-1170 FAX 0986-76-6530

高原病院
末吉町在宅介護支援センター
末吉訪問看護ステーション



②ナーシングホームひだまり

〒893-0024 鹿屋市下祇川町1853
☎0994-41-1200 FAX 0994-41-1727

鹿屋訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所ひだまり



③ケアセンターやごろう苑

〒899-8102 曾於市大隅町岩川5515
☎0994-82-5963 FAX 0994-82-5964

昭南病院
大隅地域訪問看護ステーション



④老春苑

〒893-1207 肝属郡肝付町新富525
☎0994-65-1500 FAX 0994-65-1160

春陽会中央病院
高山町在宅介護支援センター
訪問看護ステーションたんぽぽ



⑤ヴィラかのや

〒893-0014 鹿屋市寿8-21-2
☎0994-44-0021 FAX 0994-44-1226

恒心会おぐら病院
居宅介護支援事業所ヴィラかのや
訪問看護ステーションことぶき



⑥つわぶき

〒899-7103 志布志市志布志町志布志1-13-3
☎099-472-5666 FAX 099-473-3494

病院芳春苑(精神科)
ケアハウスぬくもり
グループホーム南の家族

熊毛・大島地区



①わらび苑

〒891-3101 西之表市西之表2981-1
☎0997-22-2600 FAX 0997-22-2601

社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター
わらび苑居宅介護支援事業所



②沖永良部寿恵苑

〒891-9112 大島郡和泊町和泊95-1
☎0997-92-3691 FAX 0997-92-3650

福山医院



③虹の丘

〒894-0046 奄美市名瀬小宿字苗代田3416-1
☎0997-54-8888 FAX 0997-54-8800

虹の丘訪問介護事業所
虹の丘居宅介護支援事業所
在宅介護支援センター虹の丘



④風花苑

〒891-9306 大島郡与論町麦屋字風花1305-5
☎0997-97-5011 FAX 0997-97-5012

龍美クリニック



⑤せとうち

〒894-0036 大島郡瀬戸内町大字阿木名1975
☎0997-73-1155 FAX 0997-72-4913

奄美中央病院
南大島診療所



⑥アマンデー

〒894-0504 奄美市笠利町節田字大湊1451-1
☎0997-63-1555 FAX 0997-63-0099

朝沼クリニック(診療所)
居宅介護支援事業所たちがみ
在宅介護支援センターたちがみ



⑦サザンコート

〒891-7101 大島郡徳之島町亀津7268
☎0997-83-0061 FAX 0997-83-0093

医療法人南溟会 宮上病院
社会福祉法人奄美同仁会 特別養護老人ホーム 南風園



⑧秋名の郷

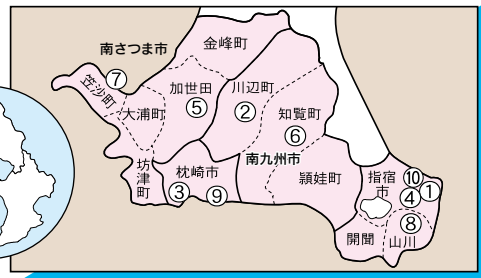
〒894-0332 大島郡龍郷町幾里字浜崎179
☎0997-62-4111 FAX 0997-62-4110

秋名の郷通所リハビリテーション
秋名の郷訪問介護事業所



⑨愛心園

〒894-0032 大島郡天城町瀬滝398番地
☎0997-85-5501 FAX 0997-85-5502



②かわなべ寿光苑

〒897-0221 南九州市川辺町田部田4848-4
☎0993-56-4311 FAX 0993-56-4331

菊野病院
寿光苑在宅介護支援センター



③エスポワール立神

〒898-0048 枕崎市火之神町630
☎0993-73-2266 FAX 0993-73-2265

小原病院
立神リハビリテーション温泉病院
ピースフル立神(介護老人福祉施設)



④指宿やすらぎ園

〒891-0304 指宿市東方7531
☎0993-24-5593 FAX 0993-24-5912

指宿竹元病院
指宿みどり館(認知症高齢者グループホーム)
老人性認知症センター



⑤ラポール吉井

〒897-0001 南さつま市加世田村原1丁目10-10
☎0993-53-8888 FAX 0993-53-8788

アルテンハイムリハビリテーションクリニック本町
加世田アルテンハイム
グループホーム なでしこ



⑥シルバーライフちらん

〒891-0911 南九州市知覧町塩屋16016
☎0993-85-4095 FAX 0993-85-4096

ちらんクリニック



⑦さつま野菊園

〒897-1302 南さつま市笠沙町赤生木11372-397
☎0993-63-1000 FAX 0993-63-1950

大迫医院
フレンドリーハウス のぎく(グループホーム)
特別養護老人ホーム 石垣の里



⑧ヴァンベールみどりの風

〒891-0514 指宿市山川大山2056-4
☎0993-35-3355 FAX 0993-35-3522

指宿浩然会病院
指宿訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所



⑨サザンケアセンター

〒898-0011 枕崎市緑町236
☎0993-72-8855 FAX 0993-72-9233

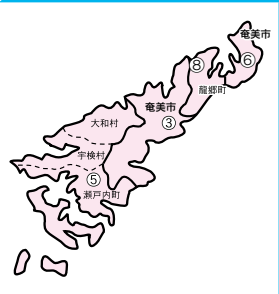
サザン・リージョン病院
サザン訪問看護ステーション
南方園(介護老人福祉施設)



⑩指宿温泉ケアサポート

〒891-0311 指宿市西方1050番地
☎0993-25-3653 FAX 0993-25-5393

医療法人聖仁会



出会いの縁に感謝して

祝 迫 正 豊

3年ほど前から、盛りだくさんの生活をシンプルにしようと努力してきた。この先、やりたことに時間を割いて過ごせたら、納得の人生になるのではないかと思う。

だが、昨年末に買った手帳は予定がびっしり埋まっており、これが現実。バタバタした日々が相変わらず続いている。

ダイアリーをめくるたびに、身動きできない時間から解放されたい自分がいる。

美術団体の巡回鹿児島展や、美術協会創立70周年事業の調整で頭の中はいっぱい。事業予算、人員配置等、寝ても覚めても気にかかる。

特に70周年事業は会議が続き、記念展実施まで時間がなく、気持ちは焦る。

思ってもいない美術協会長という大役。自分がそんな年齢になってきたのかと開き直り、覚悟を決めたものの、事々の終着はまだ見えない。

そんな日々の中で、三十数年前に出会い、親交のある方々に大きな力を頂くことができた。

20代から30代にかけて、8年ほど市立美術館に勤務した。そのとき、企画展を通じて全国的美術館学芸員と知り合った。またパリ留学時代に会った知人や当時テレビ局で駆け出しの記者だった方などに応援してもらっており、ありがたく不思議な縁を感じている。

川崎市にある岡本太郎美術館の土方明司館長は、パリ留学以来35年ぶりの電話にもかかわらず、美術協会創設70回記念の招待特別審査員を快諾してもらった。審査からギャラリートーク、祝賀会出席と、一貫してイベントを盛り上げていただいた。

地元テレビ局の役員になっておられるY氏、M氏を通して複数回のテレビ取材を受け、県民に告知することができた。自分一人の力ではできない部分を出会った方々が力強く補ってくれた。感謝しかない。

今回の表紙、油絵は時の狩人シリーズの一点。5月の第70回記念「県美展」に出品した作品で、「時の狩人、石昇華」と題した油絵。石の花の部分に金箔を使ってみた。硬い巨石が石の華となり明るい空に昇る様子を絵にした。県美術館70周年を祝う絵となれば幸いと思った。

新型コロナウイルス禍の重い時間から未来を創造し、自分の心境と重ねた。

人との縁に感謝しながら、納得のできる自分の時間を探してみたい。



表紙絵 「時の狩人、石昇華」
S 50号 (2024年作)



●作家略歴：祝迫 正豊（いわいざこ まさとよ）

1952年 南九州市生まれ 1986年 第70回二科展「特選」、鹿児島市「新人賞」
1988年 第43回南日本美術展「パリ賞」翌年フランス留学、パリ市で個展、第35回県美展 県美展賞（最高賞）
1992年 第77回二科展「二科賞」（最高賞）、他に会友賞、会員賞
1993年 文化庁現代美術展選抜展（全国巡回）
2000年 鹿児島県芸術文化奨励賞
2021年 南日本美術展「委嘱作家賞」
2023年 第107回二科展「東京都知事賞」
現在、二科会会員、南日本美術展委嘱作家、鹿児島純心大学・鹿児島純心女子短期大学非常勤講師

編集後記

◇今月号の「ふるさとフォーカス」は、リニューアルしたJR日豊線の霧島神宮駅を取り上げました。改修前はコンクリート造りで味気ない駅舎だったのが、県産の木材をふんだんに使った温かみのある駅舎に生まれ変わりました。

◇改修を手がけた会社代表のインタビューが南日本新聞に載っていました。霧島神宮の最寄り駅ですが境内までは5・5キロあり、列車は1時間に1本。駅やその周辺で観光客が滞在できる空間を創出しようと考えたそうです。その狙い通り、活気が生み出されることを期待したいものです。

◇このところ毎号、老健の全国大会や九州大会を特集として紹介しています。施設職員の熱意のある発表に毎回感心しきりです。専門性が高いため、わかりやすく記事化できているか不安な面もあります。みなさんのご意見もお寄せください。（米）

編集委員

米 森 俊一（県老人保健施設協会理事）
加 治 屋 洋（さるびあ苑）
角 之 上 洋一（ひまわり）

ろっけん鹿児島（令和6年夏号）

令和6年7月1日発行 通巻116号 無料

編集人 米 森 俊一

発行人 今 村 英 仁

印刷所 濱島印刷株式会社 鹿児島市上之園町17-2
発行所 公益社団法人 鹿児島県老人保健施設協会

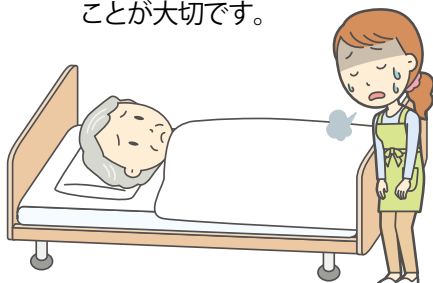


〒890-0053 鹿児島市中央町8番地1 県医師会館3F
電話099(909)1047 FAX099(909)1049
E-mail:k-roken@pc.minc.ne.jp
Website:https://kagoshima-roken.or.jp/

高齢者虐待の防止・早期発見のために 地域で支え合いましょう。

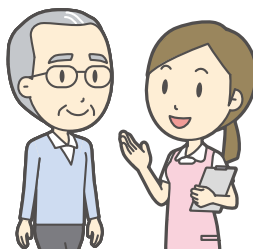
理解

虐待が起きる要因は様々です。
介護する側・される側
双方の不安や悩みを理解することが大切です。



見守り

ご近所に気になる
高齢者や介護をして
いる家族がいたら、ち
よっとした声かけをお願いします。



相談

困りごとを抱えている
高齢者や家族が
いたら、地域包括支
援センター等への相談を勧めま
しょう。



地域や介護事業所の方

『虐待かもしれない…?』と思ったら！

お住まいの

市役所・
町村役場

または

地域包括
支援センター

に

迷わずご相談ください。

※市町村や地域包括支援センターの職員には、守秘義務が課されています。

※相談窓口となるお住まいの市町村及び地域包括支援センターについては、県ホームページにも掲載しています。

高齢者虐待防止 鹿児島

検索

認知症に関する相談

〔公益社団法人認知症の人と家族の会鹿児島県支部〕

(相談日／月～金 10:00～16:00)※祝日、年末年始は除きます。

TEL.099-257-3887

TEL.099-251-4010(若年性認知症相談窓口)